



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社C & G システムズ 上場取引所 大
 コード番号 6633 URL <http://www.cgsys.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩田 聖一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部部長 (氏名) 大野 聡太郎 TEL 03 (6864) 0777
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	1,766	18.1	146	140.8	166	161.4	149	483.4
23年12月期第2四半期	1,496	3.0	61	—	63	—	25	321.3

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 168百万円 (549.5%) 23年12月期第2四半期 25百万円 (428.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	13.54	—
23年12月期第2四半期	2.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,125	2,204	52.5
23年12月期	3,925	2,046	51.5

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 2,164百万円 23年12月期 2,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,296	9.8	165	27.3	215	63.5	178	136.8	16.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は四半期決算短信4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	11,982,579株	23年12月期	11,982,579株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	937,062株	23年12月期	937,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	11,045,517株	23年12月期2Q	11,045,517株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 追加情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) セグメント情報等	11
(8) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの緩やかな回復を背景に、企業の設備投資意欲の向上、またエコカー減税の政策等による個人消費マインドの改善が見られましたが、原発稼働停止による電力不足、長期化する円高等の懸念材料も残り、先行き不透明感が拭えない状況が続いております。世界経済については、米国では製造業を中心に設備投資が堅調に推移、個人消費も持ち直しており、景気は総じて回復傾向にあるものの、欧州ではユーロ圏の金融危機により経済が停滞しております。またアジア圏では、中国の経済成長率が3年ぶりに8%を割り込むなど、景気減速感が強まっているものの、アセアン地域では順調に景気が拡大しております。

当社グループの主要顧客である金型関連業においては、設備投資の先行指標となる工作機械受注統計（日本工作機械工業会）によれば、当第2四半期累計期間における工作機械受注のうち金型向けが前年同期比17.1%増、また国内金型生産額（経済産業省「機械統計」）においても、前年同期と比較して（5月までの累計）14.3%増と堅調に推移しております。

このような状況下、当社グループは、新製品への切り替え需要を喚起するため既存顧客を深耕する一方、新規顧客開拓のために国内外でのパブリックショーへの出展を積極的に行いました。一方製品開発については、3次元CAMシステム「CAM-TOOL」において切削痕跡を抑制し加工時間も大幅に短縮する「基準面オフセット加工機能」、また3次元プレス金型設計用CADシステム「CG PressDesign」において金型設計検討の作業効率向上を実現する「成形展開機能」を追加し、金型設計・加工工程の利便性の強化を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高17億66百万円（前年同四半期比18.1%増）、営業利益1億46百万円（前年同四半期比140.8%増）、経常利益1億66百万円（前年同四半期比161.4%増）、四半期純利益1億49百万円（前年同四半期比483.4%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(CAD/CAMシステム等事業)

CAD/CAMシステム等事業においては、国内において自動車関連、電子部品等の分野へ売上を伸ばしたほか、前四半期と同様、震災による工作機械の入れ替え需要に連動した製品売上の発生、2次元CADシステムユーザの新製品への切り替え等による売上が伸びました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるCAD/CAMシステム等事業の売上高は14億23百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は90百万円（前年同四半期比65.9%増）となりました。

(金型製造事業)

北米で展開する金型製造事業においては、受注の谷となる第1四半期に例年と比較して約4倍の受注を獲得し、第2四半期の売上に大きく影響しました。今期も人員を追加し、受注活動に努めております。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における金型製造事業の売上高は3億43百万円（前年同四半期比106.5%増）、営業利益は56百万円（前年同四半期比766.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億99百万円増加し、41億25百万円となりました。主な増加要因は受取手形及び売掛金2億23百万円、投資有価証券7億99百万円、主な減少要因は有価証券8億24百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して41百万円増加し、19億20百万円となりました。主な増加要因は買掛金28百万円、前受金55百万円、主な減少要因は長期借入金55百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前第2四半期連結累計期間と比較して7億83百万円減少し、9億66百万円となりました。なお、前連結会計年度末と比較して8億3百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は1億55百万円の増加（前年同四半期連結累計期間は1億12百万円の増加）となり、前年同四半期連結累計期間と比較して42百万円の増加となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1億91百万円（前年同四半期連結累計期間は41百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は8億91百万円の減少（前年同四半期連結累計期間は1億53百万円の減少）となり、前年同四半期連結累計期間と比較して7億37百万円の減少となりました。

主な要因は、投資有価証券の取得による支出9億24百万円、投資有価証券の売却による収入1億17百万円、無形固定資産の取得による支出24百万円（前年同四半期連結累計期間は30百万円の支出）、敷金及び保証金の差入による支出19百万円（前年同四半期連結累計期間は42百万円の支出）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は70百万円の減少（前年同四半期連結累計期間は72百万円の減少）となり、前年同四半期連結累計期間と比較して2百万円の増加となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出55百万円（前年同四半期連結累計期間は55百万円の支出）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績につきましては、国内CAD/CAM製品販売が第3四半期に入り業績が一時的に低調となっていること、また海外においても、タイの洪水被害からの回復に遅れが出ているため、予想を下回る見込みですが、金型製造事業は、上期の受注状況を勘案すると、下期も順調に推移するものと見込んでおります。また利益面については、金型製造事業の売上伸長に伴い売上原価が増加する見込みである一方、販管費率の改善、有価証券利息の増加等から、前回予想を上回る見込みであり、以上のことから、通期業績予想を上方修正しております。

詳細につきましては、本日（平成24年8月10日）公表いたしました「平成24年12月期第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	986,872	1,008,057
受取手形及び売掛金	412,263	636,147
有価証券	824,752	—
たな卸資産	107,309	92,509
その他	168,158	138,293
貸倒引当金	△4,169	△4,665
流動資産合計	2,495,186	1,870,342
固定資産		
有形固定資産	296,718	281,758
無形固定資産	45,114	36,291
投資その他の資産		
投資有価証券	274,098	1,073,862
投資不動産（純額）	467,856	461,408
その他	384,055	439,412
貸倒引当金	△37,530	△37,880
投資その他の資産合計	1,088,480	1,936,803
固定資産合計	1,430,313	2,254,854
資産合計	3,925,500	4,125,196
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,718	99,169
短期借入金	410,040	410,040
未払法人税等	15,414	11,261
前受金	501,874	557,457
その他	152,397	154,209
流動負債合計	1,150,444	1,232,138
固定負債		
長期借入金	121,520	66,500
退職給付引当金	419,419	437,095
役員退職慰労引当金	84,358	88,620
債務保証損失引当金	10,184	7,407
その他	93,460	88,872
固定負債合計	728,942	688,495
負債合計	1,879,387	1,920,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	2,166,441	546,464
利益剰余金	△406,511	1,362,987
自己株式	△208,954	△208,954
株主資本合計	2,050,975	2,200,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,165	△13,635
為替換算調整勘定	△24,114	△22,589
その他の包括利益累計額合計	△31,280	△36,225
少数株主持分	26,417	40,289
純資産合計	2,046,112	2,204,561
負債純資産合計	3,925,500	4,125,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,496,274	1,766,398
売上原価	517,416	671,930
売上総利益	978,858	1,094,467
販売費及び一般管理費	917,839	947,543
営業利益	61,018	146,924
営業外収益		
受取利息	2,171	10,434
受取配当金	269	992
不動産賃貸料	41,012	41,071
債務保証損失引当金戻入額	—	2,777
その他	7,005	5,403
営業外収益合計	50,459	60,679
営業外費用		
支払利息	4,553	3,636
不動産賃貸費用	40,371	37,064
貸倒引当金繰入額	2,691	—
営業外費用合計	47,617	40,700
経常利益	63,860	166,903
特別利益		
固定資産売却益	121	315
債務保証損失引当金戻入額	2,777	—
投資有価証券売却益	—	24,850
特別利益合計	2,898	25,165
特別損失		
固定資産除却損	2,822	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,284	—
リース解約損	—	1,055
特別損失合計	25,106	1,055
税金等調整前四半期純利益	41,652	191,013
法人税、住民税及び事業税	17,079	20,790
法人税等調整額	△5,245	△2,157
法人税等合計	11,833	18,632
少数株主損益調整前四半期純利益	29,819	172,381
少数株主利益	4,190	22,859
四半期純利益	25,628	149,521

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,819	172,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,307	△6,470
為替換算調整勘定	△2,540	2,766
その他の包括利益合計	△3,847	△3,703
四半期包括利益	25,971	168,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,444	144,576
少数株主に係る四半期包括利益	3,526	24,100

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	41,652	191,013
減価償却費	29,922	61,374
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,651	845
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24,452	17,663
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,650	4,262
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△2,777	△2,777
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,284	—
受取利息及び受取配当金	△2,440	△11,427
支払利息	4,553	3,636
受取賃貸料	△41,012	△41,071
その他の営業外損益(△は益)	33,221	30,616
固定資産除売却損益(△は益)	2,701	△315
リース解約損	—	1,055
売上債権の増減額(△は増加)	△76,050	△223,635
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,865	16,676
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,773	27,238
前受金の増減額(△は減少)	62,230	55,819
未払金の増減額(△は減少)	△17,621	△21,380
その他	26,281	58,824
小計	121,790	168,419
利息及び配当金の受取額	2,459	7,733
利息の支払額	△4,495	△3,583
賃貸料の受取額	40,184	41,071
法人税等の支払額	△14,294	△27,743
その他	△33,221	△30,616
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,423	155,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,001	△14,500
定期預金の払戻による収入	15,000	15,000
有形固定資産の取得による支出	△40,541	△8,236
有形固定資産の売却による収入	121	634
無形固定資産の取得による支出	△30,498	△24,178
投資有価証券の取得による支出	—	△924,183
投資有価証券の売却による収入	—	117,750
長期貸付金の回収による収入	354	240
敷金及び保証金の差入による支出	△42,990	△19,655
敷金及び保証金の回収による収入	4,455	1,408
預り保証金の返還による支出	△7,888	—
預り保証金の受入による収入	—	500
保険積立金の積立による支出	△35,663	△35,838
その他	10	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,643	△891,104

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△55,020	△55,020
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,108	△4,688
配当金の支払額	△332	△263
少数株主への配当金の支払額	△12,865	△10,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,326	△70,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,452	2,897
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△115,999	△803,068
現金及び現金同等物の期首残高	1,865,973	1,769,125
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,749,973	966,057

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は繰越利益剰余金の欠損填補を目的として、会社法第459条第1項の規定に基づく定款の定めにより、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振替え欠損填補を実施する取締役会決議を平成24年2月24日に行い、同日実施いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が5億46百万円、利益剰余金が13億62百万円となっております。

(7) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,330,171	166,103	1,496,274
セグメント利益	256,289	6,522	262,811

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	262,811
全社費用(注)	△201,792
四半期連結損益計算書の営業利益	61,018

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント		
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,423,385	343,012	1,766,398
セグメント利益	90,422	56,502	146,924

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結累計期間においては、間接部門における全社共通費用を報告セグメントに帰属しないものとして取り扱っておりましたが、前連結会計年度より、全社共通費用の報告セグメントへの配分について見直しを行っております。

当該変更を反映した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		
	CAD/CAM システム等事業	金型製造事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,330,171	166,103	1,496,274
セグメント利益	54,496	6,522	61,018

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。